

## 加古川の蝶：年間発生状況

島崎 正美<sup>1)</sup>

### はじめに

加古川市は瀬戸内海沿岸部に工業地帯を有しながら、北部には志方町を中心に田園・里山の自然環境が豊富に残っていて、環境省のレッドリスト（日本で絶滅のおそれがある野生生物種のリスト）に記載されている絶滅危惧種、準絶滅危惧種が2009年現在で6種もみられる、いまどき貴重な地域である。

今回、その6種を含めて加古川地区にはいったいどんな種が、どのような活動をしているのかを知る目的で、ギフチョウの自然保護活動を目的として1999年5月に発足したボランティア活動団体である「加古川の里山・ギフチョウ・ネット」会員による過去の蓄積データをつき合わせ、年間発生状況という視点で表としてまとめてみた。その結果、できあがった表をじっくりみると、これまで漠然としていた各種の発生状況が定性的ではあるが、ある程度明らかにできるリストとなっていることが分かり、参考資料として公表することとした。

### 観察データの収集

今回の年間観察記録は、ギフチョウ・ネット会員である以下の各氏によるデータベース

- ① 立岩幸雄氏がインターネット・ホームページで公開している2000年から2009年までのフィールド日誌
- ② 竹内隆氏による1996年から2009年までの記録
- ③ 近藤伸一氏による1980年から2000年までの記録

に筆者の1981年から2009年までの記録を加えて、加古川市、および高砂市阿弥陀地区の記録を採用した。広畑・近藤（2007）による「兵庫県の蝶」も参考とした。

### 年間発生状況の作成

1年間を各月、上旬（1-9日）、中旬（10-19日）、下旬（21-31日）に区分し、1980年から2009年までの記録をすべて採用、記録した。区別点としては、付表凡例に示したように、安定的な通常発生とみなせる場合に●、年によって常に発生を認めるとはいえない記録には\*、越冬個体は○、その越冬個体がたまたま活動した場合には（○）の記号とした。ゴイシジミとキマダラルリ

ツバメのきわめて数少ない記録は、表内に実際の観察記録を示し、備考欄に観察地を記載した。

### 結果と考察

種別（横軸）に出現度で年間旬数36に対してどれだけ観察できたかを算出し、その割合をパーセント数値でも示した。また、縦軸集計では各旬単位で観察できた種の数と、全体種に対するパーセント数値を算出した。

年間を通じた出現度が70%を超える種として、モンキチョウ、モンシロチョウ、キタキチョウ、ウラギンシジミ、ムラサキシジミ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、ヒメアカタテハ、キタテハ、ツマグロヒョウモンの10種を認めるが、ムラサキシジミは数値が示すほどには分布が広くはない。

凡例に示した観察記録が少ない種として、出現度が3以下となっている、オナガアゲハ、ミヤマカラスアゲハ、ウラナミアカシジミ、キマダラルリツバメ、ゴイシジミ、アサギマダラ、ミドリヒョウモン、クモガタヒョウモン、ヒメキマダラセセリの9種がある。多くが山地性の蝶であって納得できるが、このうちキマダラルリツバメに関しては、1983-5年当時6月20日前後にかなりの数が発生しており、ハリブトシリアゲアリモサクラ並木や長楽寺境内にある数本のサクラなどで見られている。1986年以降の観察記録がないのは現地を継続観



ゴイシジミ 2002年9月8日 竹内氏撮影

<sup>1)</sup> Masami SHIMAZAKI 兵庫県高砂市

察できていないため、数年は継続発生していた可能性があるが、1983年に蛹を発見できたサクラの木はその後老朽化のために切り倒されたりしている。他のサクラ並木はまだ残っている状況ではあるが、残念ながらここに示した記録地では絶滅したと考えられる。

アサギマダラはツマグロキチョウとともに、加古川地区内で発生していることの確認ができていなく、他地域での発生個体の飛来による可能性もあり、今後、発生の有無という視点で注目したい種である。

キタキチョウやキタテハのように明確に季節変異を示す種については、この表からその変異時期をあるていど把握できるが、1980-2009年までのデータを機械的にすべて記入する方法では限界がある。

今回のまとめから、蝶の発生ピーク、あるいは世代交代の時期があるていどは推定できるが、その正確な把握には、種ごとの年間継続観察が必要である。また、発生時期の個体数を取り込んだ、発生ピークの定量的分析にまで発展させることや、種ごとの生息分布を整理することも課題として残る。

謝辞

加古川の蝶に関する蓄積データを提供くださった竹内隆氏、立岩幸雄氏、および、データを提供いただくと同時に、今回のまとめの公表をお勧めくださった近藤伸一氏、皆様に深く感謝いたします。

参考文献

広畑正巳・近藤伸一, 2007. 兵庫県 of 蝶.

付表 凡例	
上旬	1-9
中旬	10-19
下旬	20-31
●	通常発生個体
*	毎年発生とは限らない
●	定着種かどうか要確認
●	観察例が少ない
○	越冬個体
(○)	越冬休眠、ときに活動

付表：加古川市におけるチョウの発生状況（1980-2009年調査結果）

No.	チョウの名前	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			出現率	備考
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬					
1	ギフチョウ																																	6	17%	絶滅危惧I類			
2	ジャコウアゲハ																																		8	22%			
3	アゲハチョウ																																			23	64%		
4	キアゲハ																																			22	61%		
5	クロアゲハ																																			18	50%		
6	オナカアゲハ																																			3	8%	志方町西牧、大藤山	
7	ナカキアゲハ																																			17	47%		
8	カラスアゲハ																																			14	39%		
9	ミヤマカラスアゲハ																																			2	6%		
10	モンキアゲハ																																			15	42%		
11	アオスジアゲハ																																			21	58%		
12	モンキチョウ																																	*	32	89%			
13	モンシロチョウ																																			28	78%		
14	スジグロシロチョウ																																			8	22%		
15	キタキチョウ																																	*	31	86%			
16	ツマグロキチョウ																																			8	22%	絶滅危惧I類	
17	ツマキチョウ																																			4	11%		
18	ウラギンシジミ																																			28	78%		
19	ムラサキシジミ																																			27	75%		
20	ムラサキツバタ																																			5	14%		
21	アカシジミ																																			4	11%		
22	ウラナミアカシジミ																																			2	6%		
23	ミスズイロオナカシジミ																																			4	11%		
24	ウラコマダラシジミ																																			3	8%		
25	ミドリシジミ																																			6	17%		

付表 (続き)

No.	チョウの名前	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		出現度	出現率	備考					
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬								
26	トラフシジミ																								13	36%							
27	キマダラリツバメ																								2	6%	志方町氷室(準絶滅危惧種)						
28	コツバメ																								7	19%							
29	ルリシジミ																								21	58%							
30	ベニシジミ																							*	27	75%							
31	ヤマシジミ																							*	29	81%							
32	シルビアシジミ																								17	47%	絶滅危惧I類						
33	ウラナミシジミ																							*	12	33%							
34	ツバメシジミ																								16	44%							
35	コイシシジミ																								2	6%	志方町雁谷(写真記録あり)						
36	アサギマダラ																								3	8%							
37	テンガチョウ																								21	58%							
38	ヒメアカタテハ																							*	29	81%							
39	アカタテハ																								12	33%							
40	キタテハ																								28	78%							
41	ルリタテハ																								*	21	58%						
42	ヒトシチョウ																								7	19%							
43	インカゲチョウ																								5	14%							
44	コムラサキ																								8	22%							
45	ゴマダラチョウ																								14	39%							
46	コムシジ																								16	44%							
47	ホシミスジ																								11	31%							
48	イチモンジチョウ																								8	22%							
49	アサマイチョモンシ																								15	42%							
50	ツマグロヒョウモン																								26	72%							
51	メスグロヒョウモン																								7	19%							
52	ウラギンスジヒョウモン																								9	25%	準絶滅危惧						
53	ミドリヒョウモン																								2	6%							
54	ウモガタヒョウモン																								2	6%							
55	ヒメジャノメ																								12	33%							
56	コジャノメ																								6	17%							
57	ヒメウラナミジャノメ																								17	47%							
58	ウラナミジャノメ																								7	19%	絶滅危惧II類						
59	ヒメヒカゲ																								6	17%	絶滅危惧I類						
60	ジャノメチョウ																								7	19%							
61	ヒカゲチョウ																								13	36%							
62	クロヒカゲ																								5	14%							
63	サトキマダラヒカゲ																								12	33%							
64	クロコマチチョウ																								13	36%							
65	ミヤマセリ																								5	14%							
66	ホソバセリ																								9	25%							
67	コチャハネセリ																								10	28%							
68	チャハネセリ																								18	50%							
69	キマダラセリ																								8	22%							
70	ヒメキマダラセリ																								2	6%							
71	イチモンジセリ																								16	44%							
72	オオチャハネセリ																								5	14%							
73	ダイミョウセリ																								7	19%							
発生確認種数		5	7	10	13	21	25	33	36	37	43	49	50	51	41	46	36	28	18	30	40	44	39	26	34	23	19	20	16	12	10	6	
チョウの発生確認率		7%	10%	14%	18%	29%	34%	45%	49%	51%	59%	67%	68%	70%	56%	63%	49%	38%	25%	41%	41%	55%	60%	53%	36%	47%	32%	26%	27%	22%	16%	14%	8%